

令和元9月19日

西仙北中学校

保護者の皆様へ

大仙市立西仙北中学校

校長 千葉 雅一

(公印省略)

## 「よりよい学校づくりのためのアンケート（前期）」の結果と御礼

初秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、8月末に行われた早朝草刈りなど、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りまして衷心より感謝申し上げます。

さて、7月に保護者の皆様からお子さんの姿や本校の教育活動に関してアンケートにご協力いただきました。ご多忙中のところ誠にありがとうございました。

つきましては、その結果がまとまりましたのでご報告いたします。

なお、今回のアンケートから得られたデータや皆様からいただいた貴重なご意見は、学習指導の工夫改善、指導計画や学校行事の見直し等、今後の教育活動に生かして参りたいと思っております。

今後とも地域の学校として、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■本件に関する問い合わせ先

大仙市立西仙北中学校

教頭 市川 真喜子

TEL (0187)75-1108 FAX (0187)75-2735







## 「西仙北中学校教育活動等に関わるアンケート(12月)」(保護者) 「記述」に対する学校としての回答等

☆学校生活で気になること、ご意見やご要望等をいただきました。

◇ 登校方法について見直しが必要かと思えます。バスをもっと活用すべき。(距離にかかわらず全生徒。)熊が怖いです。

A スクールバスは、大仙市教育委員会が、文部科学省の遠距離通学支援の基準(小学生は4km、中学生は6km以上)をふまえるとともに、平成24年度の統合により通学路が変更となった旧西仙北西中学校区内の生徒を支援するために運行していますので、全生徒が利用できないという点についてご理解いただければと思います。

実際、どのバスも指定されている座席は埋まっているのですが、該当する生徒がいつもバスを利用しているわけではないようです。ご家庭の事情もあるかと思えますが、できるだけスクールバスを活用するように今後も声をかけていきたいと思えます。

なお、小学生が利用しない夏休みに限り、過去に熊の出没が見られた場所を自転車または徒歩で登校する生徒に、保護者の要望でバスの乗車を許可しております。今後ともご意見・ご要望等がありましたら、学校のご連絡ください。

◇ 年に1回のスキー教室なら廃止した方がよいかと思えます。

A 雪国秋田の地域性を生かし、スキーやスノーボードなどのウインタースポーツに親しみ、冬を積極的に楽しもうとする気持ちを育てることや生涯スポーツの基盤づくりに役立てることなどをねらいに、毎年「スキー教室」を実施しています。市内のスキー場を利用した場合、リフト代は無料になるなど、市からの支援もいただいております。また、スキー用具やウェア等はレンタルすることもできます。

スキー教室につきましては、毎年指導者として多くの保護者の方々にご協力いただき、大変ありがたく思っております。今年は例年になく雪不足のためスキー授業は中止となりましたが、小学校でも行ってきた行事であり楽しみにしている生徒も少なくありませんので、今後も継続していきたいと考えております。何卒、ご協力とご支援をお願いいたします。

◇ お弁当の日の実施意義は？今年度は基礎テスト前に実施され、時期への配慮が感じられなかった。

A この「お弁当の日」を通して、「自分で食べるものを自分で作ることで食への関心を高めるとともに自立の気持ちを育てること」「お弁当を作る大変さや家族の温かみを知り、家族に感謝の気持ちをもつこと」がねらいであり、これが「食育」です。

昨年度までの年2回の実施を今年度は1回としましたが、食育の重要性を考えると来年度もぜひ実施していきたいと考えております。実施時期については改めて検討し、生徒の過度な負担にならないように考えていきたいと思えます。何卒、実施の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

◇ SNSを通しての誹謗や中傷等に関しては、学校側もなかなか認識できないことも

あるかと思えます。このことについては、デリケートな問題であるため、どこまで公表してよいかと悩むと思えますが…。学年内や部活動内でのことであるならば大まかな情報の共有はあってもよいのではないかと思えますが…。

◇ いじめ問題について深く関わってくれる感じがしなかった。努力はされていると思えますが…。

A 中学生の時期は自我の目覚めにより、自分と相手の価値観の相違などにより、意見の衝突や感情の行き違いなどが頻発する時期でもあり、そのことが友人とのトラブルに発展してしまうことも少なくありません。その意味からも、中学校は集団の中で望ましい人間関係を育む訓練の場とも言えると思えます。集団の中でこそ味わえる「仲間意識」や「葛藤」こそが、今子どもたちに求められている「生きる力」の育成にもつながると思えます。

しかしながら、一部の人たちの満足のために、困ったり悲しい思いをしたりする人がいては絶対にいけません。私たち教職員は、常にアンテナを高くして子どもたちの様子を観察するよう努めておりますが、家庭内での様子やSNS等に代表されるネットでのトラブルに関しては、完全には把握できていない状況です。このことから、今年度は、昨年度も行って「生活アンケート」の回数を増やし、気になる意見にはすぐに対応するようにしています。また、今後も生徒が気軽に相談してくれるような雰囲気づくりや声かけなどにも一層配慮していきたいと考えております。

また、本校では「学校いじめ防止等の基本方針」(ホームページに掲載)に則り、「理由が何であれ、『いじめ』は絶対いけないこと」という考えであり、生徒会でも「いじめNOプロジェクト」として全校生徒が、缶バッジを胸に付ける取組を行っております。また、もしそのような事案が発生した場合は、被害者と考えられる生徒の心情を一番に考え、その生徒の要望で、事案の内容の公表や全体での指導について配慮する場合があります。そのため、状況によっては情報共有が難しい場合もあることをご理解いただきたいと思います。

保護者の皆さんからも、お子さんの様子で気になることがありましたら、遠慮無く学級担任や部活動担当の先生、または話しやすい職員にお声がけくださればと思えます。よろしく願いいたします。

## ○次のようなご意見も頂戴しております。

☆小さい頃からの偏食がなおらず、小さい頃のように誤魔化しも効かず悩みです。大人になるにつれ、自分の体や健康を考えて少しずつ、偏食をなくして行ってほしいと思っております。

☆目標に向かって短期集中はようやくできるようになってきたが、毎日コツコツ積み重ねていく学習習慣がなかなか身に付けられずにいる。部活動と学習の両立をしていけるよう言葉をかけやる気を引き出していきたいです。

☆地域の方々とふれ合う機会を学習の中にたくさん取り入れてくださっていてありがたいと思っております。

☆駅伝大会等で本格的で立派なポスターを作成していただき、とてもありがたいです。生徒たちにとっても、励みになっていると思っております。

☆先生方には、毎日大変お世話になっております。校長先生が更新してくださっているという学校のブログや学年報など、子どもたちの様子がよくわかり大変有難く思っております。祖父母も毎日楽しみにチェックしているようです。ありがとうございます。